

教員紹介

氏名	早川 のぞみ	担当科目	法哲学
略 歴			
出身地	栃木県		
出身大学	2001年 東北大学法学部卒業 2003年 東北大学大学院法学研究科博士前期課程総合法制専攻修了 2008年 東北大学大学院法学研究科博士後期課程総合法制専攻修了		
取得学位	博士（法学）		
職 歴	2008年 東北大学大学院法学研究科・助教 2009年 桃山学院大学法学部・専任講師 2014年 桃山学院大学法学部・准教授（現在に至る）		
在外研究歴			
社会貢献等			
主要研究業績等			
主 著 等	<p>著書</p> <ul style="list-style-type: none"> ・『はじめて学ぶ法哲学・法思想：古典で読み解く 21 のトピック』竹下賢他編（ミネルヴァ書房，2010年）第6章「司法裁量 judicial discretion——裁判官はハード・ケースでどのように判断を下すのか？——」116-128頁[分担執筆] <p>主要論文</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「J.M. バルキンの「枠組みとしてのオリジナリズム」論に関する一考察——法理学の視座からみたアメリカ合衆国の憲法解釈論におけるその位置づけ——」山元一・只野雅人・蟻川恒正・中林暁生編『憲法の普遍性と歴史性』（日本評論社，2019年）103-125頁 ・「アレクシーの原理理論をめぐる近年の議論展開」法学 77 卷 6 号，2014年，929-953頁 		

	<ul style="list-style-type: none">・「原理中心の法理論の特徴と可能性——法実証主義とドゥオーキンの対比から」『ドゥオーキン：法哲学と政治哲学』宇佐美誠・濱真一郎編（勁草書房，2011年）129-146頁・「ドゥオーキンの法理論における原理の役割と機能：批判的法学研究との対比を手掛かりに」桃山法学15巻，2010年，329-360頁・「ドゥオーキンの道徳的解釈論の意義と課題—オリジナリズムとの対比から：中絶事例を手掛かりに」法哲学年報（2006年）（有斐閣，2007年）158-167頁・「人工妊娠中絶と人間性名の価値」齊藤豊治・青井秀夫編『セクシュアリティと法（東北大学21世紀プログラム ジェンダー法・政策研究叢書（第5巻）』（東北大学出版会，2006年）115-139頁
--	---